

【日の出入り・月の出入り表】

2018年 8月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備考
	時:分	時:分	度	時:分	時:分	時:分		
1	5:34	12:27	74.9	19:21	22:03	9:12	19.0	
2	5:34	12:27	74.6	19:20	22:35	10:08	20.0	木星がてんびん座で東矩※1
3	5:35	12:27	74.4	19:19	23:07	11:05	21.0	
4	5:36	12:27	74.1	19:18	23:43	12:03	22.0	
5	5:37	12:27	73.8	19:17	--:--	13:04	23.0	下弦
6	5:37	12:27	73.6	19:16	0:21	14:07	24.0	
7	5:38	12:26	73.3	19:16	1:05	15:12	25.0	立秋※2
8	5:39	12:26	73.0	19:15	1:56	16:17	26.0	天王星が留※3 水星が内合※4
9	5:39	12:26	72.7	19:14	2:54	17:20	27.0	
10	5:40	12:26	72.4	19:13	3:58	18:18	28.0	
11	5:41	12:26	72.1	19:12	5:07	19:10	29.0	山の日 新月
12	5:41	12:26	71.8	19:11	6:18	19:57	0.7	13日にかけてペルセウス座流星群が出現
13	5:42	12:26	71.5	19:10	7:28	20:39	1.7	ペルセウス座流星群が極大
14	5:43	12:25	71.2	19:08	8:35	21:17	2.7	
15	5:44	12:25	70.9	19:07	9:40	21:53	3.7	
16	5:44	12:25	70.6	19:06	10:43	22:29	4.7	
17	5:45	12:25	70.3	19:05	11:43	23:05	5.7	伝統的七夕(旧七夕) 月と木星が接近
18	5:46	12:25	70.0	19:04	12:42	23:42	6.7	上弦 金星が東方最大離角※5 水星が留※3
19	5:46	12:24	69.6	19:03	13:39	--:--	7.7	
20	5:47	12:24	69.3	19:02	14:34	0:22	8.7	
21	5:48	12:24	69.0	19:01	15:26	1:04	9.7	月と土星が最接近
22	5:48	12:24	68.6	18:59	16:16	1:50	10.7	
23	5:49	12:23	68.3	18:58	17:02	2:38	11.7	処暑※6
24	5:50	12:23	68.0	18:57	17:44	3:29	12.7	
25	5:50	12:23	67.6	18:56	18:23	4:22	13.7	
26	5:51	12:23	67.3	18:55	18:59	5:17	14.7	満月
27	5:52	12:22	66.9	18:53	19:33	6:12	15.7	水星が西方最大離角※5
28	5:52	12:22	66.6	18:52	20:05	7:07	16.7	火星が留※3
29	5:53	12:22	66.2	18:51	20:37	8:03	17.7	
30	5:54	12:21	65.9	18:50	21:09	9:00	18.7	
31	5:54	12:21	65.5	18:48	21:43	9:58	19.7	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しております。

※1 地球から見た外惑星と太陽とのなす角が90° になることを「矩」といい、太陽から東に90° 離れるのが「東矩」、西に90° 離れるのが「西矩」です。東矩のときは夕方、西矩のときは明け方南の空で見えやすくなります。

※2 二十四節季の一つ 意味:秋の気配が感じられる。

※3 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動していくように見えますが、時に東から西へ移動することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。

※4 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり、「衝」の時最も近くなります。内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があり

※5 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※6 二十四節季の一つ 意味:暑さがおさまるころ。